

あとがき

現在、本稿を執筆しているのは7月中旬です。西日本に甚大な被害をもたらした豪雨の直後であり、被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。最近は毎年のように日本のどこかで大雨特別警報が発令されている印象があります。温暖化に伴って太平洋の海水から上空に大量の水分が蒸発し、それが日本各地に降雨となって襲いかかるという図式です。小欄が読者に届くのは9月ですので、今後夏から秋にかけて台風をはじめ、どのような災害に日本が見舞われるのか予想もできませんが、できる限りの対策は講じておきたいものです。

さて、本号では「今月の話題」に篠崎尚史先生の「猥眼と海外角膜—高レベルの移植角膜供給のために」が掲載されています。常々、日本と米国との猥眼数の圧倒的な違いが彼我の文化的相違に基づくものである、とある種の諦観をもって捉えておりましたが、実際はそうではなく、米国では猥眼数を増やすために国を挙げてそれなりの対応策を講じてきた結果、今があるとの内容です。しかも、日本の海外角膜に依存している現状は好ましいものではなく、むしろ「イスタンブール宣言」に違反している状態であるとのことです。眼科医だけの力では到底現状を打破することはできないでしょうが、しかし猥眼数の増加は国を挙げて取り組むべき課題であることを認識させられます。

また連載では、大黒伸行先生による「眼炎症外来の事件簿」が新たにスタートします。今回は梅毒の症例でした。奇しくも佐藤茂先生らの症例報告でも梅毒性ぶどう膜炎が掲載されており、今回は近年増加しているとされる梅毒性眼疾患を理解する良い機会となりそうです。特徴的な所見はなく、常に梅毒の可能性も考えて血液検査をオーダーすることが肝要とのこと。さらに視細胞障害も駆梅療法によって改善するという点は、眼科医にとってもし見逃せば「助かるものも助けられない」という事態を招くことを教えるものだと思います。(中澤 満)

編集顧問	清水弘一	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅養三	西田輝夫
	水流忠彦	根木 昭	下村嘉一				
編集委員	寺崎浩子	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	稲谷 大	井上幸次	

臨床眼科 (第72巻 第9号)

2018年9月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価: 本体 2,800 円+税

(2018 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 送料弊社負担))
冊子版 40,140 円+税
電子版 (個人) 40,140 円+税
冊子+電子版 (個人) 45,140 円+税

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 松井・山本・安部